

富山高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	情報理論		
科目基礎情報								
科目番号		0179		科目区分	一般 / 選択			
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科		電子情報工学科		対象学年	4			
開設期		前期		週時間数	2			
教科書/教材		特になし (教員が用意した資料を使用する)						
担当教員		早勢 欣和						
到達目標								
情報理論の基礎を学び、情報量の概念・定義を理解することを目標とする。 1. 情報量の概念・定義を理解している。 2. 情報源のモデルと情報源符号化について理解している。 3. 通信路のモデルと通信路符号化について理解している。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		情報量の概念・定義を正しく理解し、計算することができる。		情報量の概念・定義を理解し、計算することができる。		情報量の概念・定義を理解していない。		
評価項目2		情報源のモデルと情報源符号化について正しく理解し説明できる。		情報源のモデルと情報源符号化について理解し説明できる。		情報源のモデルと情報源符号化について理解していない。		
評価項目3		通信路のモデルと通信路符号化について正しく理解し説明できる。		通信路のモデルと通信路符号化について理解し説明できる。		通信路のモデルと通信路符号化について理解していない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		情報量やエントロピーの概念、情報の発生の確率モデルとそれに関連する符号化について講義する。						
授業の進め方・方法		座学と演習および課題を用いて講義を進める。 授業外事前学習: 講義内容を予習しておく。 授業外事後学習: 講義内容を復習し、関連する課題に取り組む。						
注意点		JABEEの評価基準に達するには60点以上が必要である。 講義の復習および予習を行ってから受講すること。 課題は成果物として評価する。 評価が60点に満たない者は追認試験願の提出により課題と試験を伴う追認プログラムを受けることができる。追認プログラムの結果、単位の修得が認められた者にあたっては、その評価を60点とする。なお、追認プログラムは、不認定となった内容によって異なるので対象者は事前に確認すること。						
授業の属性・履修上の区分								
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス		情報理論の対象、概念、必要な基礎数学について説明できる。			
		2週	情報の表現		情報表現の基礎とそれに関連する具体例(アルファベットと符号化、符号の例など)を説明できる。			
		3週	情報量の定義		情報理論の最も基本的概念である情報量について説明できる。			
		4週	エントロピー		情報理論の最も基本的な概念である平均情報量について説明できる。			
		5週	演習: いろいろな情報量(1)		複合事象のエントロピーについて説明でき、計算できる。			
		6週	演習: いろいろな情報量(2)		条件付きエントロピー、相互情報量について説明でき、計算できる。			
		7週	情報源		情報源のモデル、情報源のエントロピーについて説明できる。			
		8週	中間試験		情報理論の基礎概念についての理解度を確認する。			
	2ndQ	9週	マルコフ情報源		マルコフ情報源について説明できる。			
		10週	情報源の冗長度		情報源の冗長度について説明できる。			
		11週	雑音のない離散通信路		雑音のない離散通信路について説明できる。			
		12週	符号化		符号化と冗長度の除去について説明できる。			
		13週	雑音のある離散通信路		雑音のある離散通信路について説明できる。			
		14週	誤り訂正と訂正		誤り検出と訂正について説明できる。			
		15週	期末試験		情報理論の基礎についての理解度を確認する。			
		16週	成績評価・確認		期末試験の返却及び解答例の説明			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
			試験	課題		合計		
総合評価割合			80	20		100		
基礎的能力			80	20		100		